

2010年3月期 第3四半期決算の概要

■ 連結決算の概要

売上高：ジェネリック医薬品の18.4%増収が寄与、全体では6.1%の増収

2010年3月期第3四半期の連結売上高は前年同期比6.1%の増収となりました。連結売上高の97%を占める医薬品事業の医療用医薬品(荷離)は16,253百万円と同9.3%の増収となりました。

特にジェネリック医薬品はDPC病院での需要増に加え、昨年度発売したアムロジピン錠「ケミファ」の寄与により、同18.4%の増収となりました。一方、主力品においては、ほぼ当初予想どおりの5.1%減収となりました。

利益：営業利益は前年同期比57.0%、利益率も改善基調

利益面では原価率の上昇を昨年より継続して取り組んできた経費適正化の効果により吸収し、営業利益は前年同期比57.0%の増益、利益率も改善基調となりました。

なお、通期業績予想については、本年4月の薬価改定等による影響を考慮し、2009年5月に発表した業績予想を変更しておりません。

■ 連結損益の概要

(百万円)

	2009年3月期 第3四半期		2010年3月期 第3四半期			2010年3月期予想	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	増減率(%)	金額	進捗率(%)
売上高	16,756	100.0	17,778	100.0	6.1	23,600	75.3
医薬品事業	16,287	97.2	17,244	97.0	5.9	22,650	76.1
其他事業	469	2.8	534	3.0	13.7	950	56.2
売上原価	7,716	46.1	8,470	47.6	9.8		
原価率増減P				+1.6P			
販売管理費	8,640	51.5	8,679	48.9	0.5		
販管费率増減P				△2.6P			
営業利益	399	2.4	627	3.5	57.0	750	83.6
経常利益	207	1.2	521	2.9	約2.5倍	500	104.2
当期純利益	21	0.1	211	1.2	約10倍	200	105.5

■ 医療用医薬品の概況

(百万円)

	2009年3月期 第3四半期		2010年3月期 第3四半期			2010年3月期予想	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	増減率(%)	金額	進捗率(%)
医療用医薬品(荷離)	14,873	100.0	16,253	100.0	9.3	21,415	75.9
ジェネリック医薬品	9,085	61.1	10,761	66.2	18.4	14,115	76.2
アムロジピン	582		1,328		約2.3倍	1,800	73.8
プラバスタチン	919		942		2.5	1,260	74.8
ボグリボース	625		756		21.0	950	79.6
ランソプラゾール	415		668		61.0	700	95.4
その他	6,544		7,067		8.0	9,405	75.1
主力品計	5,788	38.9	5,492	33.8	△ 5.1	7,300	75.2
ウラリット	2,625		2,636		0.4	3,500	75.3
ソレトン	2,660		2,399		△ 9.8	3,200	75.0
カルバン	503		457		△ 9.1	600	76.2

本件に関するお問い合わせ先
 日本ケミファ株式会社 広報室
 Tel: 03- 3863- 1211